

# 臓器ごとに異なる がんの 推奨検査法

## 胃・食道

**推奨** 胃カメラ

以前からおこなわれてきたX線検査では、早期の胃がんや食道がんが写らない可能性が。被ばくのリスクもあります。より精度が高い胃カメラ検査がおすすめ。  
※自治体を実施する検診でも、胃カメラを導入するケースが増えています。

## 肺

**推奨** CTスキャン

胸部単純X線検査では、1cm以下のがん細胞を見つけにくい傾向が。精度を高めるならCTスキャンがおすすめです。放射線を使うため、定期的な検査は発症リスクが高まる60歳代になってからでも。

## 胆のう・肝臓・腎臓・ひ臓

**推奨** MRI、超音波

腹部に集まっているこれらの臓器は、MRIと超音波のどちらでも、がんの早期発見に適しています。特に腎臓は、がん細胞を見つけやすい臓器といわれています。

## 子宮

**推奨** MRI、超音波

一般的には、子宮頸部の表面の細胞をブラシですり取り、診断をおこないます。デリケートな場所のため、検査を受ける側の心身の負担を考慮すると、MRIや超音波がおすすめです。

## 大腸・小腸

**推奨** 内視鏡

一般的には便潜血検査をおこないますが、検便した日に出血がない場合もあり、万全ではありません。早期発見に限れば、大腸は内視鏡、小腸はカプセル内視鏡のほうが確率は高くなります。

## 前立腺・膀胱

**推奨** MRI

前立腺はMRIか超音波が適しています。膀胱は内部を把握しにくいいため、MRIのほうが早期発見の確率が高くなります。また、MRIなら前立腺と膀胱をまとめて検査できる点もメリットに。

## すい臓

**推奨** MRI (MRCP)

がんの早期発見が特に難しい臓器。MRIの先端型の検査方法であるMRCPが有効です。MRIに比べると、対応できる医療機関が少ないのが現状です。

## 乳房

**推奨** MRI

マンモグラフィや超音波検査は、体質やがん細胞の状態によっては精度が落ちることが。MRIは、そうした状況下でも精度が高いのが特徴。また、女性特有のがんをまとめて検査したい時も、乳房から子宮まで一度に調べることができます。

※個人の体質、健康状態、検査歴などにより、上記の検査方法とは別の方法が適する場合もあります。



**健康寿命**  
をのばすために  
今したいこと

監修  
團 茂樹先生

宇部内科小児科医院院長。総合内科専門医、医学博士。1982年日本大学第一内科学院修了、カナダ州立オンタリオがんセンター留学、那須中央病院内科部長、千代田漢方クリニック院長を経て現職。東洋医学にも詳しく、ていねいなスクリーニングによる漢方薬の処方にて定評がある。

©PRESS\_AND\_ARTS / ForYourImages

## 臓器別・最適な検査方法はどれ？

# がんを早期発見するために

がんの早期発見は、治療の効果を高め、その後の状態を良好に保つ上でとても重要。そこで、臓器別にもっとも適したがんの検査方法を、総合内科専門医の團茂樹先生にうかがいました。

取材協力：ティーベック株式会社

### ■ 主ながん検査

検査名	特徴
CT スキャン	X線を使って体の断面を撮影する。心臓、大動脈、気管支、肺、肝臓、腎臓などの病変の発見に適している。デメリットは、放射線を使うため被ばくのリスクがあること。
MRI	磁気を使い臓器や血管を撮影する。ほとんどの臓器を網羅することと、放射線を使わないことがメリット。ただし、肺のように空気を含む臓器と、胃や腸のように動く臓器の検査には不向き。磁気を使うのでペースメーカーの使用者は使えないが、対応型のタイプもある。
超音波 (エコー)	超音波を当てて、その反射を映像化して調べる。MRIと同様に、肺や胃、腸の検査には適さない。検査技師の技術が重要になるため、結果に差が出ることも。
PET	ブドウ糖に近い成分を体内に投与し、がん細胞の発見につなげる検査方法。微小ながん細胞の発見が得意。ただし、胃や食道などの消化器の粘膜に発生する早期のがんと、腎臓や尿道、膀胱、脳、心臓などの臓器には有効性が低い。

### 費用はかかるが 詳細な状態がわかる

がん検診には、市町村などの自治体を実施するものと、個人が任意でおこなうものがあります。自治体のがん検診は検査料が安く（もしくは無料）、検査結果の信頼性も高いのが特徴です。ただし、検査対象は胃・肺・大腸・乳房・子宮に限られ、検査方法も指定されています。「検査方法にはそれぞれ、得意なことと不得意なことがあります。がんを早期発見するには、いくつかの検査方法の中から、その臓器にもっとも適した方法で検査することが重要となります。自治体のがん検診だけでは、カバーしきれない部

分があるのも事実です」  
では個人で検査を受ける場合、どのような基準で検査機関や病院を選ばいいのでしょうか？  
「検査機器や検査技術は日々、進歩しています。また、検査で異常があると、多くの場合は次に精密検査をおこないます。それらを踏まえると、がんの検査に力を入れている大学病院やメディカルセンターを選ぶのがいいでしょう。検査は基本的に自費になります。ただし、もしかかりつけ医を受診した段階で異常があったり、異常がありそうな条件が揃っていたりした場合、検査機関への紹介状を書いてもらえば、健康保険が適用になることもあります」